

島根県大田市

世界遺産と国立公園、日本遺産、さらに…
ここにしかない
贅沢な歴史と自然が共存するまち



世界遺産と豊かな自然を抱くまち大田市

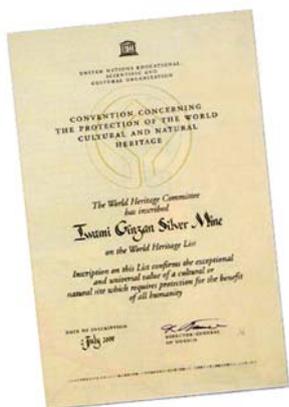
美しいブナ林にさまざまな動植物たちが生息する三瓶山、マリンドールに染まる日本海の大海原。島根県のちょうど真ん中に位置する大田市は、海と山の両方を満喫できる自然豊かなまちです。

2007年に世界遺産登録された石見銀山遺跡は、国内では14件目、鉱山遺跡としてはアジアで初めての世界遺産です。かつて銀生産で賑わった大森の町並みは、訪れる人々を今もやさしく迎えてくれます。大山隠岐国立公園に指定されている三瓶山では太古の巨木林（国天然記念物）が発見され、10.2メートルの高さが見る者を圧倒します。鳴砂で知られ、国の天然記念物に指定された「琴ヶ浜」、世界最大の1年計砂時計が時を刻む「仁摩サンドミュージアム」も大田市のシンボルです。また、2020年には「石見の火山が伝える悠久の歴史～“縄文の森”“銀の山”と出逢える旅へ～」が日本遺産認定され、ますます盛り上がりを見せています。

豊富な湧出量を誇る「三瓶温泉」、世界遺産登録エリア内の温泉街の「温泉津温泉」も見逃せません。山海の幸に舌鼓を打ちながら、心と体を癒せます。さらに、焼き物ファンにうれしいスポットは、日本最大級の登り窯を持つ「温泉津やきもの里」。伝統に培われた味わい深い手作りの焼き物が静かに語りかけてくるようです。また、社殿創建1500年を越える石見国一宮の「物部神社」も見所の一つです。

春夏秋冬、自然と歴史に彩られた大田市に是非お越しください。

石見銀山遺跡とその文化的景観



世界遺産登録認定証

石見銀山遺跡は、環境に配慮し、自然と共生した鉱山運営を行っていたことが特に評価され、2007年7月に「石見銀山遺跡とその文化的景観」として、国内では14番目、鉱山遺跡としてはアジアで初めての世界遺産に登録されました。



上空から見る石見銀山(北西から)

また、石見銀山で生産された銀は高品質で、東アジア交易においても信用が高く、石見銀山の所在する佐摩村(さまむら)にちなんでソーマ銀と呼ばれ流通しました。16世紀末から17世紀初頭の全盛期には、石見銀山で産出された銀をはじめとする日本銀が、世界の産銀量の約3分の1を占めたといわれています。

世界に知られた石見銀山

石見銀山は、1527年、博多の豪商神屋寿禎に発見されて以来、約400年にわたって採掘された日本を代表する鉱山遺跡です。大航海時代の16世紀、日本の銀鉱山としてヨーロッパ人に重要視された存在で、当時ヨーロッパで作られたアジアや日本の地図には、石見銀山付近を指して「銀鉱山王国」「銀鉱山」と記されたものもあります。



ティセラ/日本図(1595年)
「Hivami」(石見)付近に「Argenti fodinae」(銀鉱山)の記載あり
(島根県立古代出雲歴史博物館所蔵)

大森

おおもり

銀鉱山跡と鉱山町

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された大森は、江戸時代に形づくられた陣屋町。鉱山に隣接して発展した、幕府直轄地の中心となった町で、武家屋敷や商家が混在しているところが特徴です。歴史と文化の香りが漂う町並みには古民家を活かしたショップやカフェもあり、幾度訪れても心が和む人気のエリアとなっています。

間歩(まぶ)と呼ばれる坑道が点在する銀山地区では、一帯が鉱山であったことがうかがえます。戦国時代、仙ノ山を中心に形成された集落は鉱山開発とともに範囲を広げ、最盛期には20万人もの人が暮らしたとも言われています。今では家並みもまばらですが、寺社や谷筋に残る石垣に往時の賑わいを垣間見ることができます。

いわみざんせんせかいいさんせんたー

石見銀山世界遺産センター



大田市大森町イ1597-3 TEL0854-89-0183

世界遺産の価値を体感

世界に知られる鉱山遺跡の石見銀山の歴史や鉱山技術などを紹介しています。ヒノキの梁を使ったエントランスには鉱山遺跡全体が見られるジオラマが。そして石見銀山最大級の「大久保間歩」の一部を忠実に再現した展示室もあり、模型や映像などで遺跡を分かりやすく紹介しています。

いわみざんしりょうかん

石見銀山資料館



大田市大森町八51-1 TEL0854-89-0846

本物が語る資料館

史跡「代官所跡」に位置する資料館。建物は明治35年に建築された瀬摩郡役所を利用しています。江戸幕府の石見銀山支配を語る歴史資料、鉱山の経営や技術を語る鉱山資料、鉱山の地下資源を語る鉱物標本など、本物の資料が雑沓に語りかけます。

じゅうようぶんかざい くまがいけじゅうたく

重要文化財 熊谷家住宅



大田市大森町八63 TEL0854-89-9003

銀山で栄えた商家、熊谷家

熊谷家は、大森で最大規模の商家です。金融業、酒造業などを営みながら町役人や代官所の御用商人を務め、19世紀には有力な商家として栄えました。住宅は1801年に建築され、季節ごとのしつらいのほか、かまどなどを利用した体験メニューがあります。

りゅうげんじまぶ

龍源寺間歩



大田市大森町二183 TEL0854-89-0347

銀を採掘した坑道を一般公開

江戸時代中期、代官所直営の間歩(銀を採掘した坑道)として採掘されてきました。平成元年から、坑道内部を歩きながら見学できるように整備されました。昭和63年の調査で、坑道付近の建物や鉱脈探査で掘られた跡などが発見されています。

石見銀山最大の坑道跡 大久保間歩一般公開ツアー

江戸から明治時代の最大級の坑道・大久保間歩は高さ5.5mに達するところもあります。2017年7月から公開範囲が拡大され、石見銀山の心臓部ともいわれる「福石場」が公開されました。

期間限定のガイドツアー形式で一般公開されています。

【実施期間】3月～11月の金土日祝・お盆期間(8/11～8/13)

【参加料】大人3,700円／小中学生2,700円

※予約制 ※小学生未満はご参加できません。

【所要時間】①10:00～②11:00～③12:30～④13:30～

(所要時間：約2時間)

※30分前には集合してください。

ご予約・お問い合わせは…株式会社石見観光 大久保間歩予約センター TEL.0854-84-0750

温泉津ゆのつ



ゆのつおんせん 温泉津温泉

日本の温泉町で唯一
『重要伝統的建造物群保存地区』
選定されているレトロな町並み

旅の憎が湯に浸かって傷を治している狸を見つけたとか、縁結びの神様大国主命が病気のうさぎをお湯に入れて救ったことから始まったとも云われています。発見されてから約1300年の歴史を持ち、湯治場として評判の由緒ある温泉。現在もその薬効の高さから入浴者がたえることはありません。

温泉が湧く港町

石見銀山の外港として栄えた温泉津は、かつてはたくさんの廻船問屋が軒を並べた港町。銀山支配に関わった現地の代官や著名な戦国大名、文人墨客なども逗留しました。全長800mほどの風情あふれる町並みにふたつの泉源があり、今も老舗の温泉宿が建ち並んでいます。

温泉町と隣り合わせる沖泊は、毛利氏が石見銀山を支配した16世紀後半、銀の積み出しと石見銀山への物資補給が行われた港。船を係留した「鼻ぐり岩」や、航海の安全を祈った神社などが残っています。全長12kmほどの温泉津沖泊道で石見銀山と結ばれており、石畳や土橋が残る街道には当時の道標や石仏などもあります。温泉津と沖泊はともに世界遺産に含まれています。

ゆのつやきものさと 温泉津やきものの里



日本最大級の巨大登り窯を有する匠の里

椿窯、森山窯、(有)椿窯の3つの窯元とやきもの館がある温泉津やきもの里。展示即売はもちろん宝永年間(1704~1708)から続く温泉津焼の歴史や魅力を知ることができます。山の急な斜面を利用して作られた日本最大級の登り窯10段と15段は、一度は見たい風景です。

大田市温泉津町温泉津イ22-2 TEL0855-65-4139



仁摩にま

古い港と鳴砂の浜

鞆ヶ浦は石見銀山開発初期の16世紀前半から中頃にかけて、銀・銀鉱石を積み出した港で、石見銀山から約7kmの鞆ヶ浦道でつながっていました。当時は博多から多くの商船が来航し繁栄したとの記録があり、船を係留するために自然の岩盤をくり抜いた「鼻ぐり岩」などが中世港湾を彷彿とさせる世界遺産のゾーンです。

鞆ヶ浦の東には、国の天然記念物にも指定された琴ヶ浜が優美な弧を描きます。歩くとキュッキュッと音を奏でる鳴砂の浜で、日本の音風景100選にも選ばれました。ガラス張りのピラミッドが目目をひく仁摩サンドミュージアムは珍しい砂の博物館で、ドラマや映画で話題となった漫画「砂時計」の舞台としても人気のスポットです。

にまさんどみゅーじあむ

仁摩サンドミュージアム



悠久の時を刻む 世界最大の砂時計

漫画「砂時計」の舞台になった、砂と時計の博物館「仁摩サンドミュージアム」は、ガラス張りのピラミッド型の外観が目印です。建物は全6基、館内は8つのゾーンに分かれ、高さ5mの世界最大の1年計砂時計が1tの砂を落とし静かに時を刻んでいる様子が見られます。

大田市仁摩町天河内975 TEL0854-88-3776

ことがはま

琴ヶ浜



全国でも珍しい鳴砂の浜

仁摩町の海岸に約1.6kmに渡って続く砂浜で、国の天然記念物に指定されています。砂は丸みを帯びた石英が多く含まれており、踏んで歩くとキュッキュッと音がします。琴ヶ浜海岸は日本有数の鳴砂海岸として注目されています。

日本遺産構成文化財

大田市仁摩町馬路

石州左官の技術が残る 『鏝絵(こてえ)』

「鏝絵」とは、左官職人が鏝(こて)を使って、漆喰(しっくい)で立体的な彫刻を施した装飾画のことです。石州左官の技術は、当時全国的に有名で、精巧で力強い作品が町並みのあちこちに残されています。色を混ぜた色漆喰によるカラフルな「鏝絵」もあります。絵柄には、物語、身近な動物や空想上の獣などが取り上げられ、庶民の祈りや願いが込められています。仁摩エリア以外でも見ることができますので、旅の途中で探してみるのも一興です。



2020年6月19日認定!!



石見の火山が伝える悠久の歴史

～“縄文の森” “^{しろがね}銀の山” と出逢える旅へ～

ストーリー

地下へ続く階段を下りていくと、目の前にそびえ立つ幾本もの巨大な木——。三瓶山の噴火で地中深くに埋まった縄文時代の木々が、悠久の時を超え、当時のままの姿を現しているのです。

火山大国である日本。

人々を脅かす噴火ですが、石見の国おおだには様々な恩恵をもたらしてくれました。かつて世界に「ジパング（日本）」の名をとどかせた石見銀山の鉱床もマグマから生まれたのです。そして火山が育んだ豊かな大地は生活を潤してくれました。暮らしの根っこに火山の歴史が息づくまち、石見の国おおだ。ここには火の国のめぐみと出逢える旅が待っています。



日本遺産構成文化財分布図

- 現在によみがえる縄文の森
- 豊かな暮らしを育んだ三瓶火山
- 火山が生んだ石見銀山
- 暮らしを支えた火山のめぐみ



三瓶山



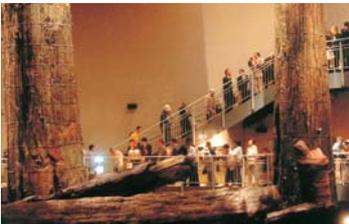
緑豊かな国立公園

標高1,126mの男三瓶山を主峰に、女三瓶山、子三瓶山、孫三瓶山など6つの峰が家族のように寄り添い連なる三瓶山。観光リフトで壮大な山の眺望が容易に体感できる東の原、自然系博物館や森の中のキャンプ場などの施設が充実した北の原、そして三瓶の代表的な景観である広大な草原の西の原など、素晴らしい自然にあふれています。

火山噴火によって埋もれた太古の森が4000年の時を超えて姿を現した三瓶小豆原埋没林は、世界的にも貴重な神秘的森。南麓の志学は豊富な温泉が自然湧出する山あいの里で、茶色いにぎり湯を掛け流しで堪能できる宿泊施設も人気です。また、三瓶在来種の蕎麦を自家製粉し、手打ちで饗する蕎麦の名店も点在しています。2020年日本遺産登録された「石見の火山が伝える悠久の歴史～“縄文の森”“銀の山”と出逢える旅～」の構成文化財です。

さんべあすきはらまいぼつりんこうえん

三瓶小豆原埋没林公園



大田市三瓶町多根口58-2 TEL0854-86-9500

(さんべ縄文の森ミュージアム)
地底にそびえる神秘的巨木群
地下への階段を降りるとそこは4000年前の森。三瓶山の火山噴火で埋没した森を地下ドームで展示公開しています。そびえる巨木の迫力は圧倒的。太古の森を実際に目の当たりにできる世界でも例を見ない施設で、国の天然記念物に指定されています。

日本遺産構成文化財

さんべしぜんかん さひめる

三瓶自然館 サヒメル



大田市三瓶町多根1128-8 TEL0854-86-0500

自然を思いきり楽しもう!

国立公園三瓶山の自然に囲まれた博物館。化石や動物のはく製などの展示やプラネタリウム、バードウォッチングができる野外観察スペースなど、自然体験を楽しむしかけが盛りだくさん。本格的な天文台もあり、土曜日の夜は天体観望会を開催しています。



さんべおんせん 三瓶温泉

三瓶温泉は鉄分が多く含まれたナトリウム塩化物泉。湯量が多く源泉掛け流しとなっています。三瓶温泉には小さな公衆浴場の鶴の湯と亀の湯があり、どちらも地元の人に愛用されているほか、温泉通も足しげく通う温泉の一つです。

日本遺産構成文化財

さんべかんこうりふと

三瓶観光リフト

パノラマ絶景までの空中散歩
標高差255mを約10分かけて山頂に向かうリフト。リフトを降りて山道を少し登ると展望台があり、男三瓶山、女三瓶山、子三瓶山など三瓶山の全貌を一望できます。壮大な景色を眺めながら、思い切り深呼吸してみてください。



大田市三瓶町志学1640-2 TEL0854-83-2020

おおだ 大田

石見と出雲を結ぶ

古くから石見と出雲の文化の中継点として発展してきた町、大田。石見銀山を擁する大田市の中心市街地で、JR大田市駅から南に伸びる昔ながらの商店街は、400年近くの歴史を持つといわれる彼岸市や市民の祭り「天領さん」の会場として賑わいます。また、近頃は地域住民による新しい町づくりにも積極的に取り組まれています。大田市街地の北東部、久手から波根にかけての一角は、日本海の美しい風景が続く町。旧来、釣りや海水浴など海辺の行楽地として親しまれ、波根の旅館や飲食店では新鮮な魚介を用いた郷土の味覚が楽しめます。また、夏には久手の港を舞台に盛大な花火大会が催され、たくさんの人で賑わう風物詩となっています。

物部神社 もののべじんじや



大田市川合町川合1545 TEL0854-82-0664

壮観な佇まいの石見国一宮

御祭神である「宇摩志麻遲命」は、この地を平和で豊かにするため鶴に乗り舞い降りたと言われていました。また勝運を運んできた神にちなみ、太陽を背負う「日負鶴(ひおいづる)」の御神紋は日本唯一。境内には「富金石」と呼ばれる砂金を含んだ珍しい石でできた手水石もあります。古来より、文武両道、鎮魂、勝運の神として崇められています。

日本遺産構成文化財

立神岩と立神島 たてがみいわとたてがみしま



大田市波根町2062

町のシンボルとなる 美しい二つの島と岩

烏帽子のような形の、海から突き出た島を立神島、それと対面するようにそびえ立つ岩を立神岩と言います。島の高さ約40m、岩の高さは約80mあります。岩の白い縞は凝灰岩でできており、立神岩の先端部には立神灯台があり、海を見守っています。立神岩は日本遺産構成文化財でもあります。

最新情報は
WebでGet!!



大田市の観光情報は

大田市観光 検索 <https://www.ginzan-wm.jp>



三瓶山広域エリアの
情報は

三瓶山ツーリズム 検索 <https://www.sanbesan.jp>

